

3. 市民の交通行動 『人々は毎日どのように移動しているか』

3.1 パーソントリップ調査

市民の日常の交通行動を把握するため、調査地域に居住する5歳以上人口の4.9%に相当する90,272人（男性41,179人、女性49,093人）の市民に対し、パーソントリップ調査を実施した。この調査から年齢、性別、職業、自動車の保有の有無、トリップの頻度、目的、起終点、利用交通手段等に関する情報や、対象地域の交通現象の整理・分析を行った。

3.2 トリップの生成ならびに目的別、手段別トリップ

調査対象地域住民が一日に行う総トリップ数は5,766千トリップであり、住民1人あたり1日平均2.7トリップが行われていることになる。ヨーロッパの主要都市における平均トリップは2.9－3.0トリップ/日であるため、やや少ないと言える。

トリップの目的では通勤（24.7%）が多い。利用交通手段では公共交通利用が34.0%、乗用車利用は18.8%で、対象地域においては公共交通機関が市民の足として重要な役を担っていることがわかる。公共交通機関のうちでは、バスとトラムの利用が多い（図3.1）。

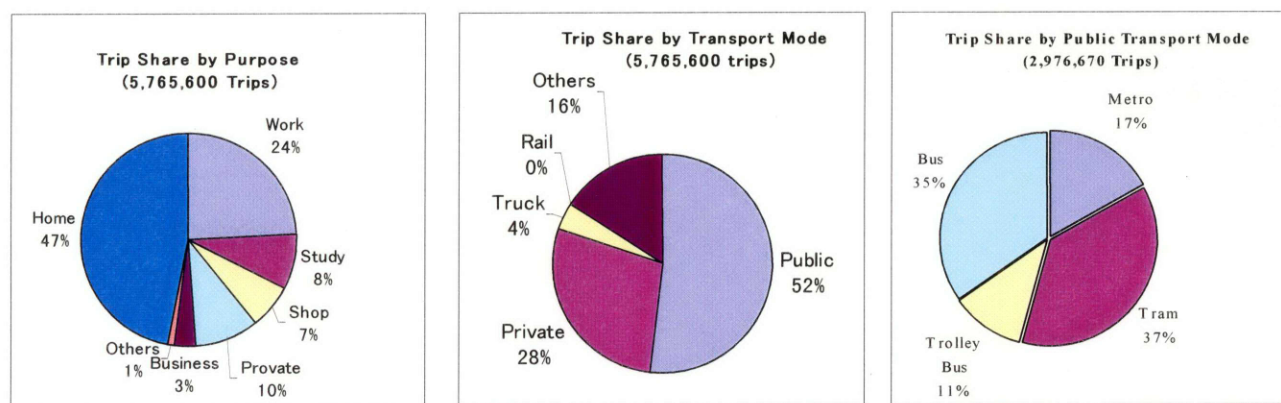


図 3.1 トリップの目的と利用交通手段

自動車保有世帯に属する人と非保有世帯に属する人の平均トリップ数を比較すると、前者が3.5トリップ/日、後者が2.4トリップ/日で、自動車保有世帯に属する人のトリップ数はそうでない人のトリップ数を大きく上回っている。自動車保有世帯に属する人のトリップの39.8%は自動車によりなされているため、今後自動車保有世帯の増加とともに、ますます自動車交通が増加することが予想される。

3.3 トリップの発生と集中

帰宅目的を除いたトリップの発生量と集中量をゾーン別に見ると、前者は人口分布に比例し内環状道路および中環状道路沿いに多く、後者は商業や業務活動の集積する都心中心部に集中している（図3.2）。

3.4 トリップの分布

トリップの分布を都心に集中する交通と利用交通手段からみると、自動車とバスはほぼ全方向へ均等に分布している。メトロは南および東南方向、トラムは東北と西南方向への分布が多く、それぞれの交通機関の整備状況に対応している（図3.3）。

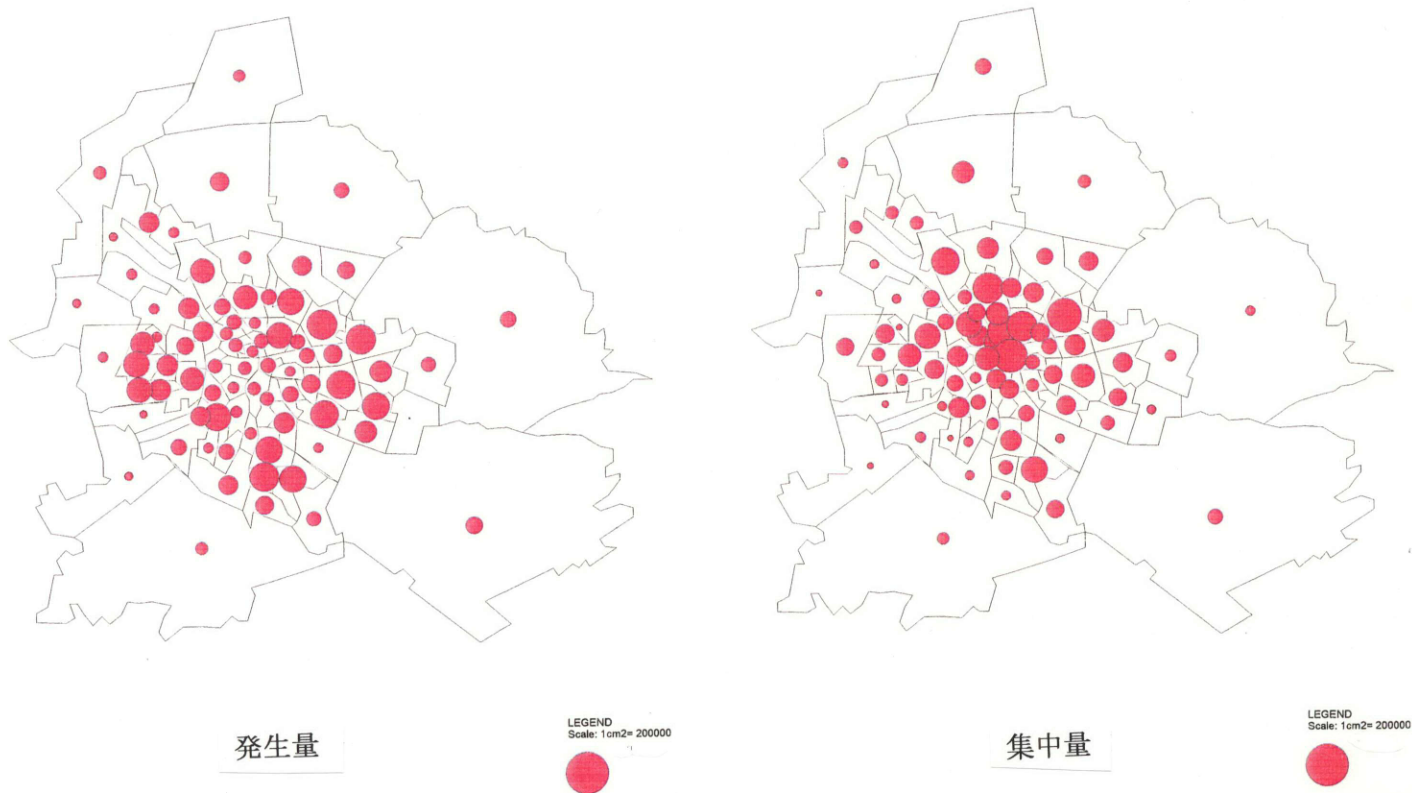


図 3.2 ゾーン別トリップの発生量と集中量



図 3.3 トリップのモード別都心集中量